



協 育

活気に満ち、笑顔が輝く学校

東根市立第三中学校

学校だより

令和5年度 第12号

(令和6年3月19日)

祝卒業 一年間ありがとうございました。校長 竹内 斉

3月14日(木)、第62回卒業証書授与式を執り行いました。私からのメッセージを掲載させていただきます。



故郷に風が運んでくる大地の香りには、芽吹き喜びが満ちているように感じられます。4年ぶりに、東根市教育委員会教育委員、教育長職務代理者、赤木雄一様をはじめ、多くの皆様のご臨席を賜り、卒業証書授与式を挙行できますことは、教職員一同大きな喜びであり、心より御礼申し上げます。巣立ちゆく23名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。たくましく成長した皆さんの姿が誇らしく、うれしい気持ちでいっぱいです。皆さんが5年生のとき、私はちょうど他地区の小学校で、5年生の社会科を担当していました。2月27日の夕方、一斉休校が宣言され、コロナ禍の日々が始まりました。人と距離をとることが求められ、大きな声で話したり、声を出して笑ったり、声を合わせて歌ったり、コミュニケーションそのものが制限される日々となりました。皆さんが入学した4月にも、3回目の緊急事態宣言が出されました。新入生代表あいさつの〇〇〇〇さんの目の前には、飛沫防止のアクリル板が設置されていましたね。様々な制限があるなか、それでもたくさんの活動に工夫しながら取り組んできた3年間でした。そして、3年生となった5月8日、ようやくコロナ感染症の位置づけも変わり、アフターコロナが始まりました。6月の修学旅行では、おそらく、旅行中の移動距離としては最長となる旅を、全員で満喫することができました。函館山の夜景と札幌エスコンフィールドを同時に楽しむ経験は、得難いものです。一方この夏は災害級の猛暑に見舞われました。命と安全を第一に考え、しこたん大運動会を延期することとなりました。8月25日に全校生を集めてこの決定を伝えたときの皆さんの表情が忘れられません。しかし、皆さんは、再び気持ちを燃え上がらせ、見事な運動会を創り上げました。当日は、途中から雨が強くなり、会場を体育館に変更することとなりましたが、ここでも気持ちを前向きに切り替え、心に響く素晴らしい応援合戦を披露してくれました。皆さんのもつしなやかさには感動しました。そして、皆さんの姿で一番印象に残っているもの、それは日々の授業での様子です。皆さんは、どの教科でもいつも暖かい雰囲気、仲間と共に学び合う姿がありました。自分の考えを伝え、他人の考えを受け入れ、楽しく学んでいこうとする姿勢が常にありました。これは教室全体に仲間を「信じる」空気が満ちていたからこそその姿だと思います。さて、卒業する皆さんに大切にしてほしいこと、それが、この「信じる」力です。新しい世界に飛び込んでいく皆さんには、まずは「自分」を、「私」を信じる気持ちを持ってください。自分を信じるができる人は、他人の意見や考えもしっかりと受け止め、考えることができます。周囲を優しい気持ちで見つめることもできます。変化に折れてしまうことなく対応することもできます。このように自らを信じる力を、私は「自信」というのだと思います。自信を持っている人は、自分に誇りも持っている人だと思います。この三中で、この地域で、仲間とそして、何よりも家族と15年間積み上げてきた自分を信じて、しなやかに未来を切り開いていってください。保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、そして九年間の義務教育の終了、誠にありがとうございます。ご家庭と地域の温かな愛情に包まれて育った子どもたちです。新しい時代にあっても、きっと力強く歩んで行くものと確信しております。これまで、本校の教育活動に、並々ならぬご理解とご協力を賜りましたことに、この場をお借りして心より御礼申し上げます。最後に、卒業生の皆さん。皆さんは、本校の歴史の62歩目、「明日への一步」を着実に刻みました。次の一步は、君たちの背中を見て育った後輩たちが、しっかりと足を進めていくことでしょう。春から始まる新しい生活においても、皆さんらしく笑顔で歩み出すことを期待しています。卒業生たちの未来に幸多からんことをお祈りして、式辞といたします。



『卒業生答辞』 卒業生代表 ○○ ○○

いつもなら、校舎の周りには多くの雪が残っていますが、今年は雪もなく、このまま冬を終え、春を迎える時期になりました。そして、私たち23名が東根市立第三中学校を巣立つ時を迎えました。3年前、コロナ禍の中、さまざまな制限の中で入学式を迎えました。ですが、昨年5月にその制限も緩和され、今日、多くの来賓の方をお迎えして卒業式が行えることを、とてもうれしく思います。3年前、期待と不安を大きな制服に包み、中学校生活が始まりました。そこから始まった私たちの3年間は、とても充実したものとなりました。勉強や部活動、生徒会など、すべてのことが初めてで、慣れるのに精一杯だった1年生。それでも、様々な活動を通して仲間との絆が深まっていくのが感じられ、不安が楽しさへと変わっていく毎日でした。

先輩という立場になり、自分の行動や言葉に責任を感じるようになった2年生。次は自分たちが学校を引っ張っていくんだという自覚と責任を持って活動するようになり、心身ともに大きく成長することができました。そして3年生、コロナウィルスによる制限も緩和され、それまでできなかったことができるようになりました。私たちは、今までできなかったことを取り戻すように、中学校最後の1年を、何事にも全力で取り組んできました。修学旅行や地区中総体など、何の制限もなく行えることが、どれほど幸せなことであるかを感じた1年間でした。中でも運動会は強く印象に残っています。コロナによる制限はないものの、記録的な猛暑のために延期となりました。本当に行えるのか不安もありましたが、それでも私たちは、開催されることを信じて、準備活動に取り組みました。どのような状況でも前向きに対応し、取り組むことができるのは、この学年の強みだと思います。内容を短縮しての開催にはなりましたが、3年生らしい、何事にも前向きに取り組む姿を、後輩に見せることができたと思います。運動会延期の影響で、準備期間の短くなった文化祭。それでも、少しでも良いものにしようとアイディアを出し合い、全校生徒が楽しめるような企画を考え、実行しました。この経験は、とても貴重なものになりました。コロナ禍の中、思うような活動ができず、普通の日常がどれほどありがたいものか、痛感させられることもありました。それでも、笑顔で乗り越え、明るく楽しい学校生活を創ることができたのは、この仲間のおかげです。そして、それが三中生の強みだと思います。私たちは、多くの方々に支えられ、最高の思い出をつくり、今日の卒業を迎えることができました。地域の皆様、今まで私たちを温かく見守っていただき、ありがとうございました。そのおかげで、毎日安心して生活することができました。先生方、私たちが大変な時に、いつも励ましていただき、ありがとうございました。いつも優しく、時に厳しく、私たちを導いていただき、とても感謝しています。在校生の皆さん。皆さんがいたからこそ、充実した中学校生活を送ることができました。今まで私たちについてきてくれてありがとう。そして、これからの三中をもっと素晴らしい学校にしてくれることを信じています。お父さん、お母さん、いつも一番近くで私たちを支えてくれて、ありがとうございました。まだまだたくさんの心配をかけるとは思いますが、いつか、一人前の大人になって親孝行します。それまで、よろしく願います。そして、卒業生のみんな。中学校生活が充実したものになったのは、どんなに大変な時も笑顔で乗り越えてきたみんなのおかげです。これからはそれぞれの道に進みますが、今まで過ごしてきた時間は一生の宝です。今後、どんな困難に出会っても、仲間のことを思い出し、乗り越えていきましょう。最後に、東根市立第三中学校の生徒であったことを誇りに思い、未来に向かって歩んでいくことを誓い、卒業生答辞といたします。



ホームページによる情報発信について

今年度の途中から、学校だより「協育」をA4用紙表裏1枚の発行とさせて頂いておりますが、その代わりとして、本校ホームページ「三中の四季」のコーナーで、学校の様子を随時発信しております。年度の後半からですが、週2回以上のペースで更新しています。(10月以降で約40回)ぜひ、保護者、地域の皆さんからも御覧頂き、 (GOOD) マークを承認して頂ければ励みとなります。ホームページは右の二次元コードからアクセスできますので、登録をお願いいたします。



～4月の主な行事日程～

※5月21日からの日程で、3年修学旅行、2年職場体験、1年企業訪問等を実施いたします。

日(曜)	主 な 予 定	日(曜)	主 な 予 定
5(金)	登校日(新任教・始業式)新入生オリエンテーション	15(月)	専門委員会・PTA 学年・専門部会
6(土)	令和6年度入学式	17(水)	家庭訪問(表札訪問)～19日
8(月)	振替休業日(4/6)	22(月)	EPデー(新年度から月曜日に設定します)
9(火)	交通安全教室、PTA 開票作業	25(木)	避難訓練
10(水)	生徒会入会式、部活動紹介、身体計測	26(金)	授業参観・PTA 総会・学年保護者会・PTA 歓送迎会
11(木)	学力検査等 ～12日	29(月)	祝日 昭和の日